

公開実用 昭和 59— 164588

39 日本国特許庁 (JP)

実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭59—164588

51 Int. Cl.³

識別記号

序内整理番号

43 公開 昭和59年(1984)11月5日

A 47 K 3 00

7017—2 D

B 32 B 3 20

6122—4 F

E 06 B 9 06

8006—2 E

審査請求 有

(全 頁)

54 シャッター式浴槽蓋

97 番地

21 実 願 昭58—57557

71 出 願 人 東洋プレミックス工業株式会社

22 出 願 昭58(1983)4月19日

広島市安佐北区可部町大字桐原

72 考 案 者 下土居正義

97 番地

広島市安佐北区可部町大字桐原

74 代 理 人 弁理士 八畹昇

明 細 書

1. 考案の名称 シャッター式浴槽蓋

2. 実用新案登録請求の範囲

硬質合成樹脂よりなる細長状の中空部材を軟質合成樹脂よりなる細長状の連結部材を介して並列に浴槽の上面を実質的に覆うだけの大きさに連結してなる巻き込み自在なシャッター式の浴槽蓋において、前記中空部材と連結部材によつて形成される連続凹凸状表面の全体に、軟質合成樹脂製の薄膜を一体に積層密着したことを特徴とするシャッター式浴槽蓋。

3. 考案の詳細な説明

本考案は硬質合成樹脂よりなる適当長さの中空部材を柔軟性に富んだ細長状の連結部材を介して並列に連接してなる巻き込み自在なシャッター式浴槽蓋の改良に関するもので、特に中空部材と連結部材によつて形成される連続凹凸状表面の全体に、軟質合成樹脂製の薄膜を一体に積層密着して



連結部材による接統力を強化すると共に、巻き込み等の際硬質合成樹脂製の中空部材同志がぶつかつて生ずる不快音をなくするようにしたシャッター式浴槽蓋を提供することを目的とするものである。

硬質合成樹脂にて細長状に製した中空部材を、軟質合成樹脂製の連結部材を介して並列に適当な広さになるだけ連結し、巻き込みを可能として取扱上の便利さを向上したシャッター式の浴槽蓋は既に知られている。しかしながら、この従来のシャッター式浴槽蓋においては、使用年数の経過に伴い連結部材に亀裂が生じたり、あるいは第3図に示す如き嵌め込み式のものにあつては嵌合突起が凹溝内より脱落し、使用に耐えなくなるという不具合がある。また、従来のシャッター式浴槽蓋は、表面を硬質合成樹脂製の中空部材が構成することになるので、内側に巻き込んだりするとき中空部材同志がぶつかり不快音を生ずるという欠点があり、さらに硬質のため衝撃吸収の面において劣り、感触も悪いという不具合がある。

そこで、本考案においては、シャッター式浴槽蓋本体の凹凸状表面の全体に、軟質合成樹脂製の



薄膜を一体に積層密着して前記した従来のシャッター式浴槽蓋がもつ欠点を解消したものであり、以下にその具体的構成を示す。

図中 1 は押出成形した硬質合成樹脂製の中空部材、2 はこの中空部材 1 の多数を連結するための軟質合成樹脂よりなる連結部材である。第 1 図および第 2 図に示す実施例では、適当間隔毎に並設した中空部材 1 の下面において連結部材 2 を接着、溶着等により取付け、中空部材 1 を並列させて浴槽 3 の上面を実質的に覆うだけの大きさに形成してなるものである。また、第 3 図に示す実施例では硬質合成樹脂製の中空部材 1 の長手方向一側端に設けた凹条 4 内に、中空部材 1 の長手方向他側端に設けた軟質合成樹脂製の連結部材 2 となる突条 5 を嵌合し、適当な広さになるだけ連結したものであつて、両実施例とも連結部材 2 を一種のヒンチとして巻き込み可能な構造となつている。本考案はこのような構造のシャッター式浴槽蓋において、前記中空部材 1 と連結部材 2 によつて形成される連続凹凸状表面、すなわち、浴槽 3 の上面に対向する面の反対側の面全体に、軟質合成樹脂製の薄膜 6 を一体に積層密着したものである。



シャッター式浴槽蓋にあつては、中空部材 1 の上面が山型をなし、連結部材 2 の取りついている部分が谷状となつて連続した凹凸状となるので、外周面に浴槽蓋表面の凹凸に合致する凹溝を形成した圧着ローラーを押しあてながら薄膜 6 を表面全体に密着させるもので、適宜接着剤や加熱手段を施すとよい。なお、薄膜 6 を透明な軟質合成樹脂をもつて製し、この薄膜 6 の一方の面に適宜な模様等を印刷し、この印刷面が下側になるようにしてシャッター式浴槽蓋の連続凹凸状表面に密着させるようにすると印刷面が内側となるので、連続の使用にも剥離せず美麗な仕上りのシャッター式浴槽蓋を得ることができるものである。

本考案シャッター式浴槽蓋は以上の如き構成からなり、連続凹凸状の表面に軟質合成樹脂製の薄膜が密着形成されるので連結部材を介しての中空部材同志の接統が補強され、連結部材に亀裂が生じたり、あるいは中空部材の一側端に突設した軟質合成樹脂製の連結部材となる嵌合突起が中空部材の他側端に凹設した凹条内より脱落するという従来の不具合を解消することができるものである。従つて、きわめて耐久性に富んだシャッター式



浴槽蓋を提供することができる。また、表面全体が軟質合成樹脂製の薄膜体で覆われるので、従来の押出成形によるシャッター蓋では得られなかった表面に鏡面状の光沢をもたせることができると共に、巻き込み等の際に中空部材同志がこすれて不快感を生ずるという従来の欠点も解決することができる。さらに、感触の良好で衝撃吸収性に優れたシャッター式浴槽蓋を提供することができるものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案シャッター式浴槽蓋の一実施例を示す平面図、第2図は第1図のA-A線、B-B線に沿った断面図、第3図は本考案シャッター式浴槽蓋の他の実施例を示す断面図である。

- | | |
|----------|----------|
| 1 : 中空部材 | 2 : 連結部材 |
| 3 : 浴 槽 | 4 : 凹 条 |
| 5 : 突 条 | 6 : 薄 膜 |

実用新案登録出願人

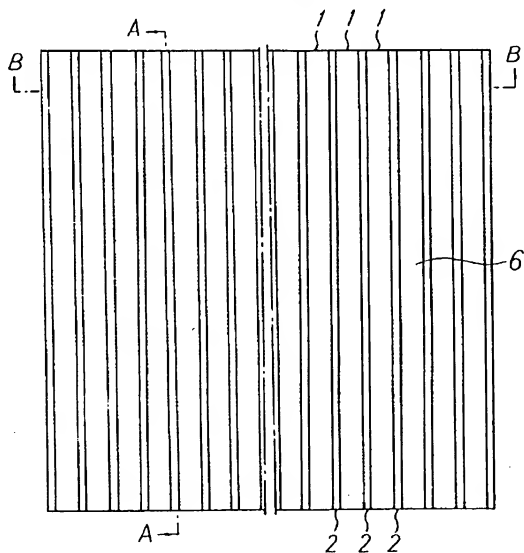
東洋プレミックス工業株式会社

代理人 辨理士 八 鍬

昇



第1図



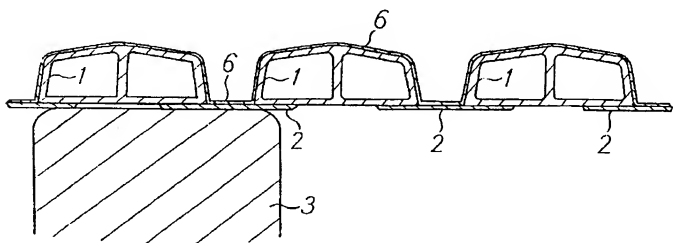
代理人 弁理士

八 繁 昇

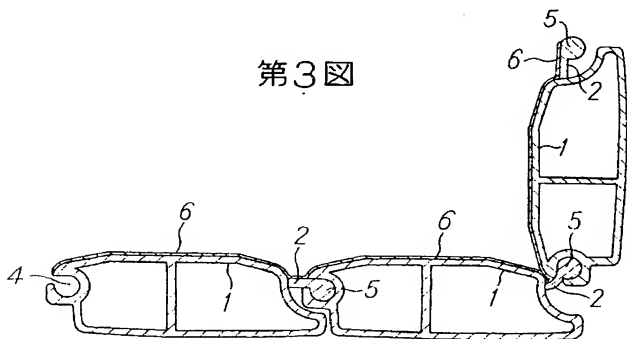
722

実開59-164588

第2図



第3図



723

代理人 弁理士 八 鐵 昇

実開59-164588